

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、以前より先生方からご要望、ご相談いただいております下記検査項目につきまして、報告表示を一部変更する運びとなりました。

今回の内容変更にあたり、先生方には大変ご迷惑をおかけいたしますが、今後ともご指導、ご鞭撻賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具

(記)

【項目名】： eGFR(推定糸球体濾過量)

【変更日】： 平成29年12月1日(金)受付分より

【変更内容】

コード	検査項目名	変更箇所	(新)	(現行)
80	eGFR	ステージ	6段階	5段階
		ステージ表記	G1	(1)
		報告単位	mL/min/1.73m ²	記載なし
		報告値	整数	小数点第1位

【変更理由】

eGFRの30～59mL/min/1.73m²のStage 3の中でも、eGFRが45mL/min/1.73m²以上と以下では末期腎不全への予後が異なることや、尿蛋白の存在がリスクを増大させているので層別化の必要があるとしてKDIGO(Kidney Disease Improving Global Outcome; 国際腎臓病予後改善委員会)より提唱されたため。

6段階		5段階	
ステージ	GFR 値	ステージ	GFR 値
G1	≥90	(1)	≥90.0
G2	60～89	(2)	60.0～89.9
G3a	45～59	(3)	30.0～59.9
G3b	30～44		
G4	15～29	(4)	15.0～29.9
G5	<15	(5)	<15.0

※ 裏面に続きます。

参考資料

CKD の重症度分類

原疾患		蛋白尿区分		A1	A2	A3
糖尿病		尿アルブミン定量 (mg/日) 尿アルブミン/Cr 比 (mg/gCr)		正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
				30 未満	30～299	300 以上
高血圧 腎炎 多発性嚢胞腎 移植腎 不明 その他		尿蛋白定量 (g/日) 尿蛋白/Cr 比 (g/gCr)		正常	軽度蛋白尿	高度蛋白尿
				0.15 未満	0.15～0.49	0.50 以上
GFR区分 (mL/分/ 1.73 m ²)	G1	正常または 高値	≥90			
	G2	正常または 軽度低下	60～89			
	G3a	軽度～ 中等度低下	45～59			
	G3b	中等度～ 高度低下	30～44			
	G4	高度低下	15～29			
	G5	末期腎不全 (ESKD)	<15			

重症度は原疾患・GFR区分・蛋白尿区分を合わせたステージにより評価する。CKD の重症度は死亡、末期腎不全、心血管死亡発症のリスクを緑 ■ のステージを基準に、黄 ■ ，オレンジ ■ ，赤 ■ の順にステージが上昇するほどリスクは上昇する。

(KDIGO CKD guideline 2012 を日本人用に改変)